

業務車用バッテリー取扱説明書

HG-IS・HG・EX (充電済)

このたびは弊社バッテリーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品は、公称電圧12Vのエンジン始動用バッテリーです...

安全に関する表示 使用する人や他の人への危害、物的損害を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことを説明しています...

危険、警告、注意のアイコンと説明。危険：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示します。

安全上のお願ひ バッテリーを安全に使用していただくために、バッテリーを取り扱う際、次の事項を守ってください。

絵表示の意味は次のとおりです。



危険

- バッテリーを正しく安全に使用していただくため、本取扱説明書やバッテリー上面(ふた)の注意表示を必ずお読みください。
●バッテリーからは水素ガスの発生があります。金属工具などによる端子と端子とのショート...

1. バッテリーの適用範囲

警告

- 車両に適した性能ランクのバッテリーをご使用ください。不適当な場合は、大電流が流れて内部が破損し、破裂(爆発)の原因となります。



注意

- 持ち運びまたは保管中などに転倒、破損により電解液が流出した場合は、重曹(重碳酸ソーダ)などで中和(泡がなくなるまで)した後、多量の水で洗い流してください。腐食または汚染の原因になる恐れがあります。

3. バッテリー交換時の取扱い

3.1 交換バッテリーの選び方

警告

- 取替え用バッテリーは、現在の車両に搭載されているものと同一サイズのものを取り替えてください。取替えを誤るとバッテリー内部が破損し、爆発の原因になる恐れがあります。

注意

- 端子と端子が同じ位置のものを選んでください。端子位置の異なるバッテリーを取り付けると、車両側のケーブルに異常な負担がかかり、ケーブルが損傷します。

3.2 バッテリー交換時の注意

危険

- 交換する際、バッテリーから発生する水素ガスに引火爆発する原因となりますので次の事項を守ってください。
●火気(タバコの火、グラインダの火花、ストーブの火など)を近づけないでください。

警告

- バッテリーを誤って取り扱った場合、引火爆発、破裂、液漏れや車両の損傷などの原因となりますので、次の事項を守ってください。
●車両の搭載バッテリーを交換する際には、車両のエンジンを止めエンジンキーを抜いてください。

注意

- バッテリーを誤って取り扱った場合、火災や液漏れによる腐食の原因になる恐れがありますので、次の事項を守ってください。
●バッテリーに電気機器を直接接続しないでください。

HG-IS HG EX バッテリー保証書

このたびは、当社バッテリーをお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に正常な使用状態で不具合が生じた場合は、本保証書をバッテリーにお買い上げ店へバッテリーとともにご提示ください。

保証内容表。お買い上げグレード()内サイズ、バッテリー適用例、保証期間、走行距離の項目を含む。

(※1) HG-ISシリーズはアイドリングストップ対応バッテリーです。バッテリーが放電気味であったり寿命に近づいてくるとアイドリングストップ機能が働かなくなる場合があります。

エネルギー株式会社

製品に関する問い合わせは、下記にご連絡ください。
エネルギー株式会社
TEL: 0120-513-573 (フリーダイヤル 携帯電話可)

2. 使用開始前の取扱い

本取扱説明書のバッテリーイラストは、実際のバッテリーと異なる場合があります。

バッテリーの持ち運び、保管、使用開始前には、次の事項を確認してください。

危険

- バッテリーは水素ガスが発生しますので、持ち運びまたは保管中には火気を近づけないでください。また、保管は火気のない風通しの良い場所とし、端子と端子とを金属工具などでショートさせないでください。

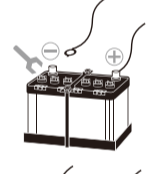


バッテリー交換時の注意事項

- バッテリー交換の際は、必ず車両の取扱説明書、整備書に従って作業を行ってください。
●車種によっては、専用ツールでのセットアップ(※1)が必要となる場合があります。

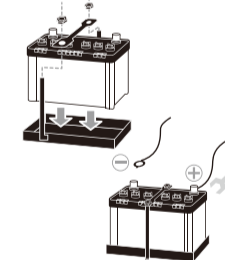
3.3 古いバッテリーの取扱い

- (1) バッテリーの搭載状態(端子位置)を記録しておいてください。
(2) 最初に車両側のケーブル端子(2個搭載の場合も)のナットを緩め、バッテリーの端子からケーブル端子を外してください(右図)。



3.4 新しいバッテリーの取付け

- (1) バッテリー取付台に異物がないことを確認し、取り外したバッテリーの端子位置と同一位置になるように、新しいバッテリーを取付台に載せ、取付金具でガタツキのないように固定してください(右図)。



4. 日常点検の方法

バッテリーの寿命は有限です。バッテリーを安全に使用していただくために、1ページ「安全上のお願ひ」及び次の事項を守り、法令に定める点検基準に準拠した定期点検を行ってください。

危険

- バッテリーの液面がLOWER LEVEL(最低液面線)以下になったまま使用や充電をしないでください。
●バッテリー内部の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮めるばかりでなく、破裂(爆発)の原因となります。

警告

- バッテリーの清掃は水で湿らせた布を用い、乾いた布などは使用しないでください。乾いた布で清掃すると静電気が発生し、スパークによる引火爆発の原因となります。
●補水時に精製水を入れずしないでください。UPPER LEVEL(最高液面線)を超えて補水すると、液溢れによる車両損傷の原因となります。

